自主防災組織の防災リーダー等が、地域で実施する防災訓練等において、

｢地域防災タイムライン｣ の 作成・指導 を実施する場合に活用できる

「説明原稿」です。

なお、この原稿は、参加者のお手元に、あらかじめA3用紙に両面印刷をした、「地域防災タイムライン」が配付されていることを想定して、作成しています。

**『地域防災タイムライン』説明用原稿**

　●●自主防災会で防災リーダーをしております●●と申します。

本日は，お忙しい中 お集まりいただきまして，ありがとうございます。

まずはじめに、大雨が続いて土砂災害などの発生が迫ってきている状況を想像してみて下さい。

この状況になってから、慌てて、どのように行動したら良いか考えていては、判断が遅れたり、適切な行動が取れなくなるおそれがあります。

ですから、日頃から、いざという時に備えて、

①みなさんがお住まいの場所にどのような災害リスクがあるか

②災害のおそれがある時に、いつ、どのような行動をとるか

③避難する時に、誰に声をかけるか

　この３点について、事前に確認し、整理しておくことを目標と

して、今日は進めていきたいと思います。

　それでは、お手元にお配りしている資料を見て下さい。

表側は、広島県が令和５年度から取組を進めている『地域防災タイムライン』です。

裏側には、この地域の「ハザードマップ」が印刷されています。

この「地域防災タイムライン」ですが、左側半分には、

「ご自身の避難について考えてみましょう」

と書かれており、右側半分には、

「災害が近づいている時には、ご近所で声を掛け合って、早めに避難しましょう｣

と書かれていて、左右で個人の避難行動と、避難時の地域住民のみなさまによる声掛けについて、一緒に考えることができるようになっています。

それでは、まず目標の１点目、左側の日頃からの備え**『自宅の災害リスク』**のチェックボックスに、裏面のハザードマップを確認して、チェックをしていただきたいと思います。

ハザードマップの中のご自宅の場所に、鉛筆で●しるしをつけてみて下さい。

ご自宅の位置が、土石流や急傾斜地の特別警戒区域に指定されている場合はレッド、警戒区域に指定されている場合はイエローになってますので、色が付いているかどうか確認して下さい。

　また、お住まいの地域によっては、洪水や、ため池決壊による浸水想定エリアに指定されていることもあります。

　本日の｢地域防災タイムライン｣は、大雨にともなう土砂災害などを想定して、作成するものですが、地震の発生による津波の警戒区域に指定されている地域もあります。

ため池や、津波等のリスクについては、●●市（町）のホームページ等で公開されている、ハザードマップなどでご確認くださいますようお願いいたします。

　続いて、目標の２点目、「いつ・どのような行動を取るか」について考えてみましょう。

　まずは、**『防災グッズチェックリスト』**です。こちらに書いてある防災グッズですが、家庭内備蓄と非常持ち出し品の両方が書かれています。

　家庭内備蓄については、食料と飲料水を3日分、できれば1週間分程度用意しておきましょう。普段から多めに食料や飲料水を買っておいて、消費期限の近いものから消費し、みなさんのお家に、常に一定量の食料や飲料水を備蓄されている状態にしておくのが良いと思います。

　非常持ち出し品については、モバイルバッテリーや携帯ラジオなど、避難先で一夜を過ごすために必要なものを準備しましょう。

また、薬を服用されている方もいらっしゃると思いますが、事前に小分けにして準備しておくと安心です。

　みなさまのご自宅の玄関に、これらの非常持出し品を入れた、リュックなどを置いておくと、いざというときに、すぐに持ち出して避難ができます。

　防災グッズについて、いくつか紹介していますが、それぞれ必要な物は、みなさんで、それぞれ異なります。より詳しく知りたい方は、QRコードを読み取って参照されるか、インターネットなどで検索をしてみてください。

　防災グッズをチェックしてみて、準備ができていないもの、これは必要というものがあれば、準備でき次第チェックを入れていただければと思います。

　続いて、**『情報収集ツール』**ですが、ここではどういう手段で気象情報や避難情報を入手するか、をあらかじめ決めておきたいと思います。

　ご自身が入手しやすい手段を使ってもらえれば良いと思います。テレビであれば、ご存じの方も多いと思いますが、NHKのデー

タ放送をリモコンのｄボタンを押して選び、防災情報を確認しま

す。

　スマートフォンであれば、色々なサイトでリアルタイムの情報を入手できますし、市（町）のホームページでは、防災情報メールや防災情報電話、FAXなども紹介されていますので、みなさんが入手しやすい手段を使って、情報を入手してください。

次の**『避難のタイミング』**ですが、ここでは、ご自宅などに支援が必要な人がいるかどうかで、避難のタイミングを決めます。

　避難の警戒レベルについては、市から発令されます。

　警戒レベル３の「高齢者等避難」で、危険な場所にいる、避難

に時間のかかる方は避難します。自家用車でなければ避難できな

い方も、まだ移動できるこのタイミングで避難します。

警戒レベルが４になると、危険な場所にいる人は全員、安全な

場所へ避難します。道路が冠水しているおそれがあるため、車での移動はやめましょう。

 警戒レベル５は、すでに災害が発生している状況です。

　避難することが困難な状況になっている可能性が高く、建物の

中で最も安全な場所で、命を守る行動をとることになっておりま

して、まさに逃げ遅れの状態です。やはり、早めの避難が重要、

ということになります。

　次は、**『避難する場所』**です。あらかじめ安全な場所２か所を決

めて、こちらに書いておくと、状況に応じてどこに避難するのか

が一目で分かるので安心です。

　この地域の避難場所は、○○が指定されています。

市（町）のホームページなどで、避難場所を検索していただくと、近隣の避難場所なども確認できます。

もう１箇所については、親戚や知人宅など、いざというときに身を寄せられる、安全な避難場所を決めておいて下さい。

　本日、自宅に帰られてから、まずは身を寄せる避難場所につい

て、相談していただければと思います。

　また、ご自宅から避難所までの道のりを確認しておくとさらに

安心です。できるだけ主要道路、一番大きな道を通るように確認

しておき、その道路をペンでなぞっておくと分かりやすいです。

ここまでで、地域防災タイムラインの左側半分、ご自身の避難について考え、決めておくことの表が完成します。

　今日の目標の３点目、最後の項目は右側の「災害時にはご近所

で声を掛けあって早めに避難する」の下にある**『避難する際の声**

**掛け先』**に、声をかける相手の「名前と連絡方法」を記載してく

ださい。

　隣のおじいさんのお宅に訪問、向かいのおばあさんには電話で

声をかける、といったイメージです。

ここまでで、全ての空欄と、チェックボックスにチェックが付

きました。

　最後に、本日の目標の３点、を振り返ってみましょう。

①みなさんのご自宅にどのような災害リスクがあるか

　②災害のおそれがある時に、いつ、どのような行動をとるか

　③避難する際に、誰に声をかけるか

　の３点です。

お家に帰られてからで構いませんので、必ずチェックをして、完成させてから、玄関やトイレ壁など目に付く場所に貼り付けて、災害への備えをしていただければと思います。

本日は『地域防災タイムライン』の作成を通して、みなさまご自身の避難行動と、地域での声掛けについて、考えていただきました。

　これを機に、ぜひ日頃から災害に備えていただき、防災グッズ

や避難先などの見直しも定期的に行っていただきたいと思います。

　また、いざというときに備えて、家族でも今日学んだことを共

有していただきたいと思います。

　そして災害が起こる可能性が高まっている時には、ご近所で声

を掛け合って、早め早めに避難をしていただくようお願いします。以上となります。

お疲れ様でございました、お気をつけてお帰りください。